シグナル伝達医学講演会/大学院特別講義

シグナル可視化解析から明らかになる、新たな組織構築システム

Exploration of new systems supporting tissue morphogenesis, using zebrafish live-imaging analyses.

九州大学生体防御医学研究所
個体機能制御学部門　細胞統御システム分野
准教授　石谷　太

日時　**平成29年　3月　3日（金）**
17：00～18：30

場所　**外来診療棟　5階　B講義室**

ヒトを含む動物のからだの構築と維持は、Wnt/β-cateninシグナルやBMPシグナル、Shhシグナルなどの形態形成シグナル（モルフォゲンシグナル）群の働きによって支えられており、一方でこれらのシグナルの制御破綻は、奇形やがんなどの疾患の原因となる。つまり、動物は「がんや奇形を引き起こしうる危険なシステム」である形態形成シグナルをうまく使いこなすことでそのからだを作り維持している、と言い換えることができるだろう。私は、このような”諸刃の剣”である形態形成シグナルを使いこなす仕組みに興味を持ち、これまで線虫やゼブラフィッシュなどのモデル動物を用いて形態形成シグナルの制御機構を解析してきた。

本セミナーでは、私たちのモデル動物を用いたシグナル研究のこれまでの成果を簡単にご紹介させていただいた後で、シグナル可視化解析により最近明らかになってきた新たな組織構築システムである「ノイズキャンセリングシステム（未発表）」について重点的にお話し、皆様と活発な議論を交わさせていただきたい。

＜文献＞ Ishitani et al., **Nature** 399: 798-802, 1999
Ishitani et al., **Nat Cell Biol** 7: 1106-12, 2005
Ota et al., **EMBO J** 31: 1904-15, 2012
Kim et al., **EMBO J** 31: 3384-3397, 2012
Shimizu et al., **Cell Rep** 8: 1391-404, 2014
龝枝　佑紀、石谷　太, 医学のあゆみ 257 (4): 293-9, 2016

【担　当】　**分子細胞生物学分野　鈴木　聡　教授　（内線：6052）**
【主　催】　**シグナル伝達医学研究展開センター**
【連絡先】　**研究支援課研究企画係　（内線 5195）**
E-mail: k9shien@med.kobe-u.ac.jp